

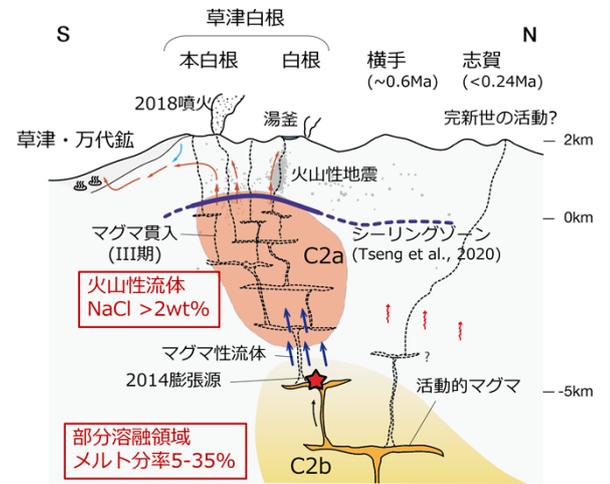
火山体内部の構造・状態把握

多元レジリエンス研究センター 火山・地震研究部門

<http://www.ksvo.titech.ac.jp/~kanda/>

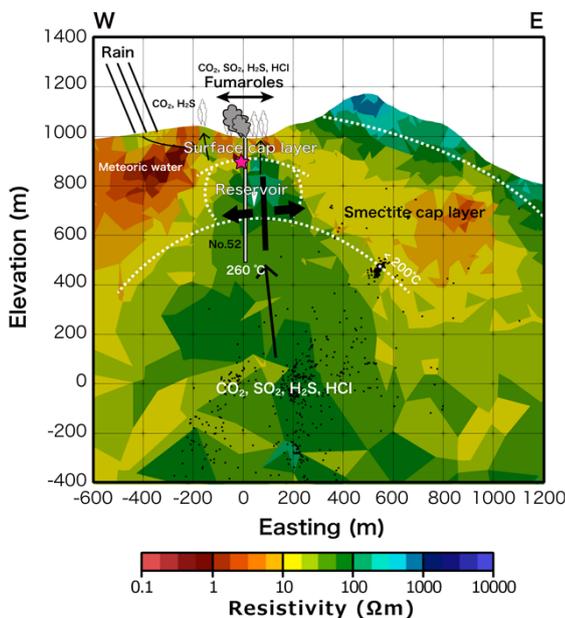
- ・ MT法による地下構造の解明
- ・ 地磁気観測による熱的状态の推定
- ・ 熱水流動シミュレーション

水蒸気噴火が発生する場である「火山熱水系」を主な研究対象としています。研究手法としては、比抵抗という物理量を野外で測定する手法（MT法）による地下構造推定を主に用いています。ほかにも、地磁気全磁力観測から、火山体内部の熱的状态を推定したり、推定した地下構造を基にした熱水の流動シミュレーションにより、火山体内部の物理プロセスの解明に取り組んでいます。



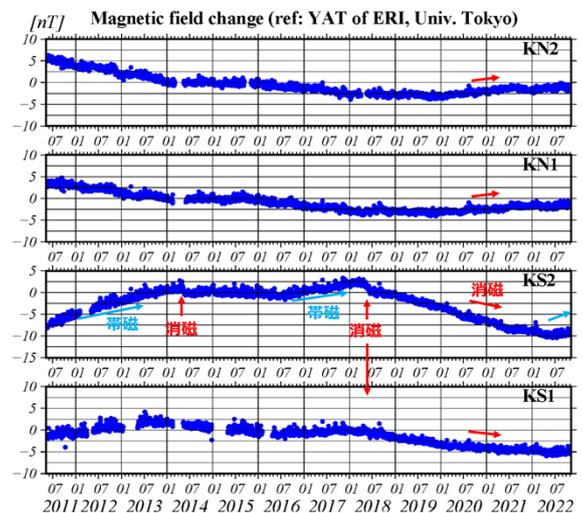
草津白根山のマグマ熱水系のイメージ

- ・ MT法を用いた比抵抗構造調査により、草津白根山のマグマ熱水系をイメージ
- ・ マグマ溜りの位置が初めて明らかになった



箱根山大涌谷の熱水系のイメージ

- ・ 2015年に小規模な噴火が発生した大涌谷の地下構造がMT法を用いた比抵抗構造調査により明らかに



草津白根山で観測された地磁気変化

- ・ 2014年、2018年の火山活動活発化に伴い、火山体浅部での蓄熱を示す地磁気変化を観測